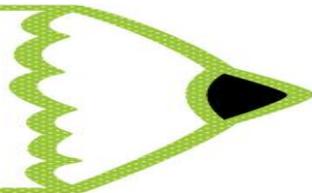


松梅校道徳通信

令和7年2月7日

文責：亀川



1月は「思いやり・感謝」について考えてみました

1月22日(水)の特別の教科「道徳」の研究授業。今回のテーマは「思いやり・感謝」。今回は、いきいき学級・小学3年生・中学1年生・3年生が、それぞれの発達段階に応じた教材で取り組みました。ご家庭でも、ぜひ子どもさんと「思いやり・感謝」について話し合ってみてください。

いきいき学級「大通りのサクラなみ木」

先生と一緒に教材である「大通りのサクラなみ木」というお話の内容を確認した後、学校生活をふり返り、様々なところで支えてくれている人の思いについて考えてみました。

「お世話になっている人に対してどうすれば良いと思うか」という問いに対して、「草とりを頑張る」「おいしかったと伝える」など、今後の自分自身について、具体的に考える姿が見られました。



小学3年生「大通りのサクラなみ木」

「ぼく」が住んでいる町のサクラ並木を守るために守るために努力している大西さんの姿と、その思いに触れることで地域の生活をよくしようとする人たちというお話。

大西さんの思いを考える場面では、「サクラを大切にしたい」「町の人に笑顔になってほしい」「あきらめたくない」などの意見が出ました。

日頃、交通指導員としてお世話になっている吉松さんの手紙を読むことで、自分自身の日常について具体的にふり返る授業になりました。



中学1年生「心をつなぐバス」

路線バスの運転手さんの、時間に遅れそうになっている「私」や特別支援学校の子どもたちに対する温かい声かけや行動を通して、バス全体が温かい雰囲気になっていくというお話。

「私」の思いについて、二つの場面を色で表現し、その理由を発表しました。温かい気持ちであるためには、「優しくすること」「相手の気持ちを考えること」「思いやりのある行動」「感謝の言葉」「笑顔」などが必要だという意見が出ました。

教室全体が温かい色に包まれた授業でした。



中学3年生「一冊の漫画雑誌」

東日本大震災の被災地。流通が止まったため、新しい本が入らなくなった本屋に、若い青年が「自分はもう読んだから」と、新しい漫画雑誌を寄付する。本屋の店主は、それを店頭置き、誰もが読めるようにする。そこから思いやりの連鎖が広がっていくという、実際のお話。

それぞれの「ヒーロー」が、どんな思いで行動したかをグループで考えました。すると、「子どもたちを喜ばせたい」「若い青年の努力に報いたい」「たくさん人の笑顔が見たい」などの意見が出ました。登場人物との個人内対話で深めた授業でした。



小学6年生・中学3年生合同道徳「どうして？」

2月5日(水)に、小学部6年生と中学部3年生と一緒に道徳の授業をしました。テーマは「公平」。二つの場面を見て、登場人物の発言の理由を考えた後、3つの絵を見て、自分の「公平」に近いものはどれかを、根拠とともに考え、グループで意見交流をしました。

意見交流ではなかなか自分から意見を述べるができなかった6年生ですが、話し合いを通して自分が考えたことを発言する場面では、絵に描かれている人の踏まえて発言する様子が見られました。



今後も各学級で道徳科の授業を行います。様子については、各学級の通信等をご覧ください。